

博記念公園（モリコロ）知淑徳大ビジネス学部

長久手市の愛・地球パークで、市内の愛

企業の本音 学生聞き出す

長久手 愛知淑徳大生主催で交流会



緊張した表情で模擬面接を行う学生たち
右：長久手市の愛・地球博記念公園で

2014年5月9日 中日新聞より

この記事・写真等は、中日新聞社の許諾を得て転載しています。

の学生が主催する企業交流会が開かれ、スーツ姿の学生らが企業の人事担当者や社会人のOBと語り合い、就職について考えた。

学生の視点をまちづくりに生かそうと、同学部の上原衛教授（五七）と学生の有志四十人が、市や県と連携して企画・運営を行っているリニモ（東部丘陵線）沿線地域活性化事業の一環。「企業からの形式的な情報提供だけでなく、疑問をぶつけ社会人の本音を聞こう」と、飲食店チェーン、生命保険会社、製造業など多彩な業種三十社の人事・採用担当者らを招いたほか、社会人として企業で働く同大の卒業生二十人も出席した。

会場では、ブースごとに企業の人事担当者や卒業生らが学生と対面する形で懇談。企業との本格的な模擬面接のコーナーもあり、学生らは緊張した表情で自己PRをしていた。

参加した同大三年の川嶋健裕さん（三〇）は「この早い時期に就職活動の雰囲気を感じてきて良かった」と話していた。（渡辺健太）